熊本大学海外派遣留学生　報告書

（協定校サマープログラム／語学セミナー）

氏名	非公開		
所属	工　学部・大学院　材料応用化学　学科・専攻		
留学先機関名	アルバータ大学　（国名：　カナダ　）		
参加プログラム区分	☐　協定校サマープログラム ✓　語学セミナー ☐　その他：		
留学期間	2023 年 9 月 4 日－　2023 年 9 月 26 日	留学開始時学年	3　年次
奨学金（奨学金を受給した場合）	☐　奨学金受給無し ✓　JASSO 海外留学支援制度　☐　国際奨学事業 ☐　トビタテ！留学 JAPAN　【第　期】 ☐　その他（　）		

写真貼付

（枚数制限なし）

１．出発前の準備について

ビザの申請	□　有　　✓　無 種類（　　）	**ビザ申請先**	□　国内　　□　現地 場所（　　）
留学に向けて 取り組んだ語学	✓　英語　　□　独語　　□　仏語　　□　中国語 □　韓国語　　□　その他（　　語）		
勉強方法	学校提供のアプリ、映画やドラマで簡単な英語フレーズや単語の学習。		
必要経費 （留学に必要な 支払い費用） ※概算費用（おおよその費用）	✓　プログラム費用　　140,000 円 ✓　宿泊費用（寮／ホームステイ等）　　130,000 円 ✓　ビザ申請　　770 円　（eTA） ✓　渡航費（□片道　✓往復）　　350,000 円 ✓　海外旅行保険料　　15,000 円 ✓　食費　　15,000　円 ✓　その他（　ロッキーツアー　　）　　100,000　円		

２．渡航～到着後の生活について

利用航空会社	九州産交ツーリズム	**手配**	旅行会社 ※利用したサイト、旅行会社等
移動経路 ※往路のみ	飛行機とバス	**到着 時刻**	16 時 【※移動時間（約　15 時間）】
大学（寮）への 移動手段	□大学手配の出迎え　　□知人の出迎え　　□タクシー □公共交通機関（□バス　□電車）　✓その他（　　）		
空港から移動する際の注意点 行き方、料金等	機内は狭いので、手荷物は最小限にした方がいいと感じました。またパソコンなどの電子機器、はさみ、水等、機内に持ち込むべきもの、預けるものと決まりがあるので注意してください。		
宿泊先	□寮　　✓ホームステイ その他（　　）	**宿泊 手配**	✓大学の斡旋　　□自分で その他（　　）
部屋の種類	✓一人部屋 □二人部屋 その他（　　）	**ルームメイト**	✓日本人学生 □他国からの学生 その他（　　）
その他生活で必要な手続き、アドバイス （口座開設、保険、携帯電話、荷物、支払い方法など）	カナダはカード決済の国なので、カードの利用額は増やしておくまたは使用できるカードを 2 枚以上持っておくべきです。JSB が使えるところは少ないので VISA をお勧めします。 カナダは日本と同様に買い物袋は有料なので、予備の手提げバッグは持っておくと便利です。また帰りに荷物が多くなった時に使用できる大きめのバッグも持っていくのをお勧めします。 私はカナダで esim を使用しましたが、開通操作が少なくすごく		

	便利でした。友達は留学中に使用容量が超えてバスや電車内で使用できないでいたので余裕を持った容量の sim を買うことをお勧めします。私の場合は 35GB の esim を購入しましたが、余裕で使用することが出来ました。

３．留学先の大学について

プログラムの概要について（授業・フィールドワーク内容、スケジュール等）	午前中は毎日授業があり、授業はグループで話し合ったり、ホームステイ先のことをプレゼン形式で紹介したりとスピーキングに特化した授業でした。午後からはアクティビティがあり、みんなで公園に行って遊んだり博物館を見学したりしました。アクティビティが特にない日は友達とカフェや買い物に行きました。
留学先大学でのサポート体制について（語学面／学校生活／住居・日常生活等）	授業の雰囲気がとても明るく、授業中でも先生に質問しやすい環境でした。また、先生も親身になって教えてくれます。アクティビティも毎日違うものが用意されていてすごく楽しかったです。ですが、他大学もこのプログラムに参加しているためクラスは日本人で構成されていました。外国人と英語で会話したいという人には物足りないのかもと感じます。
留学開始後に行った留学先大学の手続き（学生証、履修登録、大学 ID の設定等）	eclass の登録。授業料とホームステイ料金の支払い。
休日や余暇の過ごし方（観光、現地学生との交流等） ※どうやって探したか、きっかけなども具体的に	休日は家族と過ごしました。ホストマザーがいろんなところに連れて行ってくれて、バスや電車では生きにくいような自然の綺麗な公園やモールに行きました。

４．留学成果とアドバイス

留学によって得られた成果（語学に関すること、ものの考え方や取り組み方、コミュニケーション能力など自由に記載してください）

私は英語でコミュニケーションを取ったことが少なく、何か話す前に文章を頭で考えて話すのが基本でした。しかし、この留学を通して言葉が多少詰まってもまず発言することができるようになりました。日本では完璧を求められ間違えるのを恐れていましたが、ホストファミリーや先生、友達が親身になって話を聞いてくれたおかげで自分から英語を話すことが出来るようになったと思います。また自分から挑戦すること、動くことが出来るようになったと思います。限られた期間なので、自分から動かないと何も変わりません。自分からホストファミリーに話に行ったりアクティビティには積極的に参加したりしました。また毎日英語で日記を書きました。文法や単語の学習になりますし、なにより日本に帰ってきたときに留学生活を振り返ることができるからです。

同じプログラムへ参加を希望する人へのアドバイス（留学先大学、プログラムに関すること、生活全般に関することなど自由に記載してください）

ホストファミリーとの生活ですが、家庭によって食事や家の決まりが全く異なります。私の家庭は毎日白米を食べることが出来ましたが、友達の中には毎日カレーを食べる過程やパンを食べる家庭もありました。またランチは自分で作らなければならない家庭もありました。私のホストファミリーは、毎日朝食と昼食、夕食を作ってくれました。夕食には必ず白米がでて、また緑茶も用意してくれました。マザーやファザーとは仕事の関係で一緒に夕食を食べて会話をする時間は少なかったですが、その分仕事から帰ってきた後1時間お茶やスイーツを食べて会話をしたり、土日は必ずどこかに連れて行ったりくれました。また日本の生活とカナダの生活との違いで最も驚いたことは、洗濯が週に一回という点です。私の家庭は週に一回洗濯し、乾燥機を使って乾燥させます。そのため洗濯ばさみは必要ありませんでした。（洗濯ネットは持っていくべきです。）

留学を通しての感想

私はこの留学を通して夢のような忘れられない思い出が出来ました。日本では外国人と英語で話す機会がなかなかありませんでしたが、カナダでは授業やホストファミリーとの会話を通して英語を話しことに少し慣れ、話す自信が持てるようになりました。ロッキーツアーでは、すごくきれいな景色に癒されました。人生で初めてカヌーをしましたがすごく楽しかったです。ロッキーツアーや授業を通して、たくさんの友達が出来ました。熊大の人はもちろん、他大学の年齢も全く異なる人と友達になれて遊べたのがうれしかったです。そして何よりホストファミリーと出会えたのが幸せでした。忙しい中でも一緒に過ごす時間を作ってくれて、最終日にはおみあげも買ってくれました。本当の家族のようで第二の両親が出来た気がします。そして今でも連絡を取り合っています。
カナダでの生活は日本と全く異なり、毎日が新鮮です。自分自身の成長に大きくつながると思うので、迷っている方はぜひ参加すべきだと思います。

熊本大学海外派遣留学生　報告書

（協定校サマープログラム／語学セミナー）

氏名	非公開		
所属	工　学部・大学院 情報電気電子工　学科・専攻		
留学先機関名	アルバータ大学　（国名：カナダ　）		
参加プログラム区分	語学セミナー		
留学期間	2023年9月4日－2023年9月25日	留学開始時学年	3年次
奨学金（奨学金を受給した場合）	□　奨学金受給無し ■　JASSO海外留学支援制度　□　国際奨学事業 □　トビタテ！留学JAPAN　【第　期】 □　その他（　）		

写真貼付

（枚数制限なし）

１．出発前の準備について

ビザの申請	□　有　　■　無 種類（　　）	**ビザ申請先**	■　国内　　□　現地 場所（　　）
留学に向けて 取り組んだ語学	■　英語　　□　独語　　□　仏語　　□　中国語 □　韓国語　　□　その他（　　語）		
勉強方法	TOEIC の勉強そしてホームステイの英会話の本を買って勉強した。		
必要経費 （留学に必要な 支払い費用） ※概算費用（おおよその費用）	□　プログラム費用　250000　円 □　宿泊費用（寮／ホームステイ等）100000　円 □　ビザ申請　　1000 円 □　渡航費（□片道　■往復）　　300000　円 □　海外旅行保険料　　8000　円 □　食費　　80000　円 □　その他（ロッキーツアー　）　100000 円		

２．渡航～到着後の生活について

利用航空会社	Air　Canada	**手配**	九州産興 ※利用したサイト、旅行会社等
移動経路 ※往路のみ	熊本→東京→バンクーバー→アルバータ	**到着 時刻**	１４：００ 【※移動時間（約 13 時間）】
大学（寮）への 移動手段	□大学手配の出迎え　　□知人の出迎え　　□タクシー ■公共交通機関（□バス　□電車）　□その他（　　）		
空港から移動する際の注意点 行き方、料金等			
宿泊先	□寮　　■ホームステイ その他（　　）	**宿泊 手配**	■大学の斡旋　　□自分で その他（　　）
部屋の種類	■一人部屋 □二人部屋 その他（　　）	**ルームメイト**	■日本人学生 □他国からの学生 その他（　　）
その他生活で必要な手続き、アドバイス （口座開設、保険、携帯電話、荷物、支払い方法など）	クレジットカードを２枚ほど作っていった方がいいと思います。 現金はほとんど使いませんでした。 キャリーバッグだけでなく、お土産などをいれるために帰り用のボストンバッグを持って行った方がいいです。		

３．留学先の大学について

プログラムの概要について（授業・フィールドワーク内容、スケジュール等）	午前中は英語の授業を行って、午後はカナダの観光やカナダ人との交流をしました。
留学先大学でのサポート体制について（語学面／学校生活／住居・日常生活等）	日本人は誰もいませんが、親切な人が多いので問題ありません。
留学開始後に行った留学先大学の手続き（学生証、履修登録、大学 ID の設定等）	授業料振り込み
休日や余暇の過ごし方（観光、現地学生との交流等） ※どうやって探したか、きっかけなども具体的に	観光、動物園やウエストエドモントンホール、飲食街などに行った。

４．留学成果とアドバイス

留学によって得られた成果（語学に関すること、ものの考え方や取り組み方、コミュニケーション能力など自由に記載してください）

海外の方は、親切な人が多く話しかけたら笑顔で対応してくれた。

同じプログラムへ参加を希望する人へのアドバイス（留学先大学、プログラムに関すること、生活全般に関することなど自由に記載してください）

午前中の英語の授業は先生以外、全員同じプログラムに参加した日本人です。そのため、ネイティブな英語を話したい場合は、積極的に自分から話しかけていかないと難しかったです。

留学を通しての感想

英語が苦手な私にとってはリスニング、スピーキング両方とも難しかった。

熊本大学海外派遣留学生　報告書

（協定校サマープログラム／語学セミナー）

氏名	非公開		
所属	工　学部・大学院 建築　学科・専攻		
留学先機関名	アルバータ大学　（国名：　カナダ　）		
参加プログラム区分	□　協定校サマープログラム □　語学セミナー □　その他：		
留学期間	2023 年　9 月 4 日－ 2023 年 9　月　24 日	留学開始時学年	2 年次
奨学金（奨学金を受給した場合）	□　奨学金受給無し □　JASSO 海外留学支援制度　□　国際奨学事業 □　トビタテ！留学 JAPAN　【第　期】 □　その他（　）		

写真貼付

（枚数制限なし）

１．出発前の準備について

ビザの申請	□　有　　□　無 種類（　　）	**ビザ申請先**	□　国内　　□　現地 場所（　　）
留学に向けて 取り組んだ語学	□　英語　　□　独語　　□　仏語　　□　中国語 □　韓国語　　□　その他（　　語）		
勉強方法	学校での工学英語の授業など		
必要経費 （留学に必要な 支払い費用） ※概算費用（おおよその費用）	□　プログラム費用　　200000　　円 □　宿泊費用（寮／ホームステイ等）　　150000　　円 □　ビザ申請　　0　　円 □　渡航費（□片道　□往復）　350000　　円 □　海外旅行保険料　　3000　　円 □　食費　　20000　　円 □　その他（　お土産など　　）　　30000　　円		

２．渡航～到着後の生活について

利用航空会社	Air Canada	**手配**	熊本大学 ※利用したサイト、旅行会社等
移動経路 ※往路のみ	熊本空港→羽田空港→成田空港→バンクーバー→エドモントン	**到着 時刻**	15:00 【※移動時間（約　14　時間)】
大学（寮）への 移動手段	□大学手配の出迎え　　□知人の出迎え　　□タクシー □公共交通機関（□バス　□電車）　□その他（　　）		
空港から移動する際の注意点 行き方、料金等			
宿泊先	□寮　　□ホームステイ その他（　　）	**宿泊 手配**	□大学の斡旋　　□自分で その他（　　）
部屋の種類	□一人部屋 □二人部屋 その他（　　）	**ルームメイト**	□日本人学生 □他国からの学生 その他（　　）
その他生活で必要な手続き、アドバイス （口座開設、保険、携帯電話、荷物、支払い方法など）	服をたくさん持っていく。トランクは思ったより大きくていい。		

３．留学先の大学について

プログラムの概要について（授業・フィールドワーク内容、スケジュール等）	8:00~12:00 英語の授業（プレゼンテーションやスピーキング、リスニングなど） 1:00~ 課外活動（自然公園や観光地など）
留学先大学でのサポート体制について（語学面／学校生活／住居・日常生活等）	現地の大学生 2 名による学校案内や様々な手続きのサポート。ホームステイ先で交通手段について教わった。
留学開始後に行った留学先大学の手続き（学生証、履修登録、大学 ID の設定等）	学生証は任意で 25 カナダドル払うことで発行できる。大学 ID は現地で先生に手伝ってもらいながら発行した。
休日や余暇の過ごし方（観光、現地学生との交流等） ※どうやって探したか、きっかけなども具体的に	休日はホームステイ先の人たちとスーパーマーケットに行ったり、家でバーベキューをしたり、他のホームステイの人たちと交流をした。また、僕がアルバータ州の建物を見たいといったことをきっかけにアルバータ州立議事堂に連れて行ってもらった。継ぎ目のあまりない雄大な建築で迫力があり、良い経験になった。

４．留学成果とアドバイス

留学によって得られた成果（語学に関すること、ものの考え方や取り組み方、コミュニケーション能力など自由に記載してください）

まず、海外と聞いて不安になっていましたが、案外楽しいことがわかりました。言語の不自由さはたくさん感じたし、気持ちが伝わらないこともありましたが熱意があればある程度伝わりました。

カナダはアメリカと同じくらい多民族国家でアメリカの人やヨーロッパの人、アフリカの人など多くの人種が大学に集まっています。そんな人たちと触れ合うことで自然と話すことに積極的になりました。話した多くの外国の人はユーモアがあり、こちらのなれない英語を頑張って聞き取ろうとしてくれる素敵な人ばかりでとてもうれしかったです。海の向こうは本当に広い世界なのだと改めて実感しました。

同じプログラムへ参加を希望する人へのアドバイス（留学先大学、プログラムに関すること、生活全般に関することなど自由に記載してください）

カナダのアルバータ大学に行くなら、ぜひキャンパスをめぐってみてください。おいしい食べ物や新鮮な建物がたくさんあります。9 月末はカナダの中部はかなり冷えるので防寒着をたくさん持ってくることをお勧めします。

また、いろいろな体験をするために海外だからと怖がらず、様々な場所に行きましょう。電車は無料なので日本より交通機関はかなり安いです。しかし、物価は高いのでよく考えて買い物をすることをおすすします。カナダのアルバータ大学に行くなら、ぜひキャンパスをめぐってみてください。おいしい食べ物や新鮮な建物がたくさんあります。9 月末はカナダの中部はかなり冷えるので防寒着をたくさん持ってくることをお勧めします。

また、いろいろな体験をするために海外だからと怖がらず、様々な場所に行きましょう。電車は無料なので日本より交通機関はかなり安いです。しかし、物価は高いのでよく考えて買い物をすることをおすすします。

留学を通しての感想

まず、異なる文化を大いに感じました。日本の大学は日本人しかいませんでしたが、アルバータ大学は逆にカナダ人のほうが少なかったです。いろいろな人種が集まることで彼らの故郷の話はチ手も面白く感じました。

次に、カナダの観光についてです。カナダは広い国土と雄大な自然がとても魅力的でした。特にルイーズ湖の青はとても澄んでいて感動しました。Elk national park ではバイソンやビーバーなど日本ではめったに見ることのできない動物を見ることができました。

最後に、英語に関してです。自分の英語力の未熟さを痛感しました。もともと発音がよいほうがではなかったですが、現地では通じないことが多々ありました。この留学で世界の広さを感じ、英語の勉強のモチベーションが上がりました。

熊本大学海外派遣留学生　報告書

（協定校サマープログラム／語学セミナー）

氏名	非公開		
所属	理 学部・大学院 理 学科・専攻		
留学先機関名	アルバータ大学　（国名：　カナダ　）		
参加プログラム区分	□　協定校サマープログラム ■　語学セミナー □　その他：		
留学期間	2023 年　9 月　4 日ー　2023 年 9 月　26 日	留学開始時学年	2 年次
奨学金（奨学金を受給した場合）	□　奨学金受給無し ■　JASSO 海外留学支援制度　□　国際奨学事業 □　トビタテ！留学 JAPAN　【第　期】 □　その他（　）		

写真貼付

（枚数制限なし）

１．出発前の準備について

ビザの申請	□　有　　■　無 種類（　　）	**ビザ申請先**	□　国内　　□　現地 場所（　　）
留学に向けて取り組んだ語学	■　英語　　□　独語　　□　仏語　　□　中国語 □　韓国語　　□　その他（　　語）		
勉強方法	TOEIC 対策や英会話本		
必要経費 **（留学に必要な支払い費用）** **※概算費用（おおよその費用）**	□　プログラム費用　　150000　　円 □　宿泊費用（寮／ホームステイ等）150000　　円 □　ビザ申請　　円 □　渡航費（□片道　■往復）　　300000　　円 □　海外旅行保険料　　10000　　円 □　食費　　100000　　円 □　その他（　　）　　100000　　円		

２．渡航～到着後の生活について

利用航空会社		**手配**	※利用したサイト、旅行会社等
移動経路 **※往路のみ**		**到着時刻**	【※移動時間（約　　時間）】
大学（寮）への移動手段	□大学手配の出迎え　　□知人の出迎え　　□タクシー ■公共交通機関（■バス　■電車）　□その他（　　）		
空港から移動する際の注意点 **行き方、料金等**			
宿泊先	□寮　　■ホームステイ その他（　　）	**宿泊手配**	■大学の斡旋　　□自分で その他（　　）
部屋の種類	□一人部屋 ■二人部屋 その他（　　）	**ルームメイト**	■日本人学生 □他国からの学生 その他（　　）
その他生活で必要な手続き、アドバイス（口座開設、保険、携帯電話、荷物、支払い方法など）	公共交通機関の定期券の購入の必要がある。現地のコンビニエンスストアなどで購入が可能である。携帯電話の SIM カードについては E-SIM を使ったがとても便利だった。		

３．留学先の大学について

プログラムの概要について（授業・フィールドワーク内容、スケジュール等）	授業については午前中 4 時間ほど英語の授業があった。具体的にはカナダの文化や歴史についてリスニングやリーディング、英会話を通して学んだ。午後からアクティビティが企画されており現地の様々な観光スポットを訪れた。アクティビティも 4 時までには終了することがほとんどだったため、その後も自分たちの興味のある場所を訪れた。
留学先大学でのサポート体制について（語学面／学校生活／住居・日常生活等）	日常生活についてはホームステイ先のホストマザーが一から十まで面倒をみてくれた。そのため生活で苦労することは特になかった。学校生活に関しても、午前中にはクラスの先生が、午後の活動ではスタッフの方が同行していたため問題はなかった。
留学開始後に行った留学先大学の手続き（学生証、履修登録、大学 ID の設定等）	任意で大学 ID の作成が出来る。
休日や余暇の過ごし方（観光、現地学生との交流等） ※どうやって探したか、きっかけなども具体的に	休暇中や余暇では毎日友人と町中を散策した。例えば動物園や湖、ホッケーの試合やビアガーデンなどが挙げられる。また現地の先生に訪れるべき場所を挙げてもらった。現地学生との交流については昼食時に近くに座っていた学生の方と仲良くなった。プログラム内でもそういった活動があるため、現地の学生との交流の機会はそれなりにあった。また自分のホームステイ先に友達を呼んでご飯を食べたこともあった。

４．留学成果とアドバイス

留学によって得られた成果（語学に関すること、ものの考え方や取り組み方、コミュニケーション能力など自由に記載してください）

英語能力については目に見えるような上達があったわけではないが、海外で英語を使うことで、自信が持てるようになった。また今回の留学を通して民間試験の受験へのモチベーションが上がった。加えて他のプログラムにも参加したいと思うようになり、実際に別のプログラムにも参加しようと考えている。

同じプログラムへ参加を希望する人へのアドバイス（留学先大学、プログラムに関すること、生活全般に関することなど自由に記載してください）

自分はホームステイ先に渡す土産物で失敗をした。菓子類や日本食を持参したが、ホストマザーがベジタリアンであったため、渡すことに躊躇した。土産物を渡す際には食べ物以外の物も用意しておくべきだった。

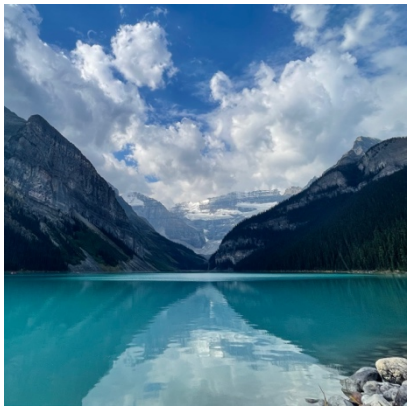
留学を通しての感想

自分の場合は、なによりも運よく友人達に恵まれ楽しい時間を過ごさせてもらった。遊びにも、ご飯にも誘ってくれてありがたかった。ホームステイについては、もちろん最初は不安だったがホストマザーがとても優しく接してくれたことがありがたかった。帰りが遅くなることが続いた際には、とても心配され怒られた。学校での様子を聞いてきたり、体調を心配してくれたり大変お世話になった。そういったことから最終日には別れをとても悲しく感じた。帰国後寂しさを感じるほど、これまでの人生で最も思い出に残る夏休みとなった。

熊本大学海外派遣留学生　報告書

（協定校サマープログラム／語学セミナー）

氏名	非公開		
所属	薬 学部・大学院 薬 学科・専攻		
留学先機関名	アルバータ大学　（国名：　カナダ　）		
参加プログラム区分	☐　協定校サマープログラム ■　語学セミナー ☐　その他：		
留学期間	R5 年９月４日－ R5 年９月 26 日	留学開始時学年	１年次
奨学金（奨学金を受給した場合）	☐　奨学金受給無し ☐　JASSO 海外留学支援制度　☐　国際奨学事業 ☐　トビタテ！留学 JAPAN　【第　期】 ■　その他（　国際力強化事業奨学金　）		



１．出発前の準備について

ビザの申請	■ 有　□ 無 種類（　ETA　）	**ビザ申請先**	□ 国内　□ 現地 場所（　　）
留学に向けて 取り組んだ語学	■ 英語　□ 独語　□ 仏語　□ 中国語 □ 韓国語　□ その他（　　語）		
勉強方法	特に、日常英語を身につけることを目的とした勉強をした。また、前期では Multidisciplinary Studies の授業を受講した。		
必要経費 （留学に必要な 支払い費用） ※概算費用（おおよその費用）	■ プログラム費用　146,740　円 ■ 宿泊費用（寮／ホームステイ等）　136,600　円 ■ ビザ申請　600　円 ■ 渡航費（□片道　■往復）　342,000　円 □ 海外旅行保険料　　円 ■ 食費　15,000　円 □ その他（　　）　　円		

２．渡航～到着後の生活について

利用航空会社	ANA、Air Canada	**手配**	九州産交ツーリズム ※利用したサイト、旅行会社等
移動経路 ※往路のみ	熊本→羽田、成田→バンクーバー→エドモントン	**到着 時刻**	9 月 4 日 16 時頃 【※移動時間（約 24 時間）】
大学（寮）への 移動手段	□大学手配の出迎え　□知人の出迎え　□タクシー □公共交通機関（□バス　□電車）　■その他（ホストファミリーの出迎え）		
空港から移動する 際の注意点 行き方、料金等	空港内の到着ロビーのような場所でホストファミリーと会い、そのまま車で家まで送ってもらった。		
宿泊先	□寮　■ホームステイ その他（　　）	**宿泊 手配**	■大学の斡旋　□自分で その他（　　）
部屋の種類	■一人部屋 □二人部屋 その他（　　）	**ルーム メイト**	■日本人学生 □他国からの学生 その他（　　）
その他生活で必要な手続き、アドバイス （口座開設、保険、 携帯電話、荷物、 支払い方法など）	現地でクレジットカードは VISA と MasterCard が主で JCB は使えない事が多かったので、限度額の関係でそれぞれ 1 枚ずつ、合計 2 枚作っておくべきだと思う。カードでの支払いができないお店は見なかったぐらいカード決済が主流で、慣れない硬貨で払うことは難しいので現金は少しだけでいいと感じた。また、携帯電話は eSIM の契約であれば全てオンラインで開通まで行うことができるため便利だった。大学内とホームステイ先では Wi-fi を使うことができたため、自分は 3 週間で３GB しか使わなかった。		

３．留学先の大学について

プログラムの概要について（授業・フィールドワーク内容、スケジュール等）	アルバータ大学の”Communication Skills for Global Citizenship” という名前のプログラムに参加した。 平日は毎日 8 時 30 分から 12 時 30 分まで授業があり、途中で 30 分の休憩が取られた。授業は主にスピーキングとリスニングが中心で、主にカナダと日本の違いについて学んだ。クラスは同じプログラムに参加している日本人の学生が約 20 人だった。 午後はほぼ毎日様々なアクティビティがあった。(歴史的建造物の見学、自然公園、Conversation club、美術館見学、コーンメイズなど) 2 週間目の週末には希望者はロッキーツアーに参加した。
留学先大学でのサポート体制について（語学面／学校生活／住居・日常生活等）	チューターの人が午後のアクティビティにも連れて行ってくれた。出発前に LINE のグループが作られ、現地では毎日次の日の予定について詳しく送ってくれた。また、授業の中やホストファミリーと生活する中でバスの乗り方や買い物の仕方など日常生活に関する色々なことを知る事ができた。授業でホストファミリーに質問するという宿題が数回出たため、その宿題をする中でホストファミリーについて詳しく聞く事ができた。
留学開始後に行った留学先大学の手続き（学生証、履修登録、大学 ID の設定等）	履修登録を自分からする必要はなかった。Moodle のような大学のサイトで ID が作られており、それにログインして授業中もそこから配布資料を見ることが多かった。
休日や余暇の過ごし方（観光、現地学生との交流等） ※どうやって探したか、きっかけなども具体的に	週末はホームステイ先の家族と過ごす事が多かった。ホストファミリーの親戚を家に呼んで一緒にご飯を食べたり話をした。また、とても大きなショッピングモールがあり、そこに買い物に行くこともあった。平日の午後には大学の近くのご飯屋さんや雑貨屋さんがたくさんあるところに行った。2 週目の週末には希望者のみ２泊 3 日のロッキーツアーがあった。クラスの人とも情報共有をしたりインターネットで調べたりして決めた。毎週木曜日には Conversation Club という、現地の大学生と留学生が会話をして交流する機会があり、そこでおすすめの場所を聞いたりした。

４．留学成果とアドバイス

留学によって得られた成果（語学に関すること、ものの考え方や取り組み方、コミュニケーション能力など自由に記載してください）

観光地などではなく、住宅街で長い間生活することは留学でない限りあまりできない経験であると感じ、観光での滞在とは違う良さがあると感じた。日常の生活を英語だけで過ごすことが初めてだったので、初めはとても緊張していたが段々ほぐれていった。大学での授業では日本とカナダの文化や生活の違いについて学び、意見交流を行った。ほとんどの時間を英語を使って過ごしたため、出発前と比べると流暢に英語を話すことや、話したいことをまず日本語で思い出してから英語で訳すのではなく、初めから英語が出てくるようになったのが最も大きな進歩だと感じた。また、今まで私はあまり積極性がなかったが授業の中で段々と積極的に自分から発表をすることができるようになり、語学力以外の面でも成長することができた。

同じプログラムへ参加を希望する人へのアドバイス（留学先大学、プログラムに関すること、生活全般に関することなど自由に記載してください）

私は現地に行くまであまりそこに馴染むことはできないと思っていたけれど、カナダが移民が多い国であったこともあって町中に様々な人種の人がおり疎外感を持つことはあまりなかった。さらに、ホストファミリーも現地で生まれ育った人だけでなく数年前に移住してきた様々な国の人も多くいた。私の場合はホームステイ先がフィリピン系の家族であったため、カナダだけでなくフィリピンの文化についても教えてもらったり、日本の文化にも興味を持ってくれていたため日本について教えたりした。ホストファミリーにはカナダでの生活についてたくさんサポートしてもらい、そのおかげで早く慣れることもできたと思うので、今まで海外に行ったことがない人にも初めての海外経験としてホームステイができるこのプログラムに参加することは良いと思う。夏休みは時間もあり、この時期のエドモントンは日本よりも涼しく過ごしやすい気候だったので、このプログラムを強く薦めたいと感じた。

留学を通しての感想

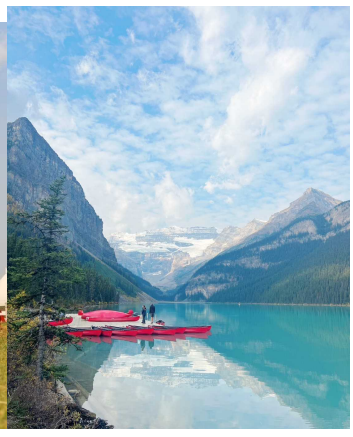
留学に行くのは今回が初めてだったが有意義な時間を過ごすことができたと思う。最初は現地で生活することに対して戸惑うことも多かったが、一週間過ごすと生活に慣れることができ、行動範囲も広くなって様々な場所に行くことができた。授業の中でカナダと日本の文化の違いについて学んだことで、日本にいると当然のことだと思っていたことが必ずしも他の国でも通用するとは限らないことを学び、日本で外国人の人と接する時には配慮して接しようと感じた。私は元々、1 年間などの留学には行きたいとは思っておらず将来海外で働きたいと思うことも全くなかったが、自分でも驚くほどすぐに日本に帰りたくないと思うようになった。両親は短期の留学にとても賛成してくれ後押しやサポートをしてくれたが、それがなければ自分で決断することはできていなかったと思うのでとても感謝している。これからも将来につながる様々なことに積極的に参加していきたい。

熊本大学海外派遣留学生　報告書

（協定校サマープログラム／語学セミナー）

氏名	非公開		
所属	法　学部・大学院　法　学科・専攻		
留学先機関名	アルバータ大学　（国名：　カナダ　）		
参加プログラム区分	☐　協定校サマープログラム ☐✓　語学セミナー ☐　その他：		
留学期間	2023 年 9 月 4 日ー　2023 年 9 月 26 日	留学開始時学年	2 年次
奨学金（奨学金を受給した場合）	☐　奨学金受給無し ☐✓　JASSO 海外留学支援制度　☐✓　国際奨学事業 ☐　トビタテ！留学 JAPAN　【第　期】 ☐　その他（　）		

写



１．出発前の準備について

ビザの申請	□✓　有　　□　無 種類（　　ETA　　）	**ビザ申請先**	□　国内　　□✓　現地 場所（　　web　　）
留学に向けて 取り組んだ語学	□✓　英語　　□　独語　　□　仏語　　□　中国語 □　韓国語　　□　その他（　　語）		
勉強方法	独り言を言う、Netflix の英語のドラマを英語音声で聞く、海外の人の YouTube を見ながら英語を真似する		
必要経費 （留学に必要な 支払い費用） ※概算費用（おおよその費用）	□　プログラム費用　　30 万　　円 □　宿泊費用（寮／ホームステイ等）　　13 万　円 □　ビザ申請　　1 万 5 千　　円 □　渡航費（□片道　□✓往復）　　32 万　　円 □　海外旅行保険料　　4 千　　円 □　食費　　2 万　　円 □　その他（　　お土産・娯楽費　　）　　8 万　　円		

２．渡航～到着後の生活について

利用航空会社	エアカナダ	**手配**	九州産交（大学が手配） ※利用したサイト、旅行会社等
移動経路 ※往路のみ	飛行機	**到着 時刻**	14 時 【※移動時間（約　12　時間）】
大学（寮）への 移動手段	□大学手配の出迎え　　□知人の出迎え　　□タクシー □公共交通機関（□バス　□電車　□✓その他（ホストファミリー　）		
空港から移動する際の注意点 行き方、料金等	出発時間やゲートが変わったりするので、アナウンスや掲示板を頻繁に確認しておく。		
宿泊先	□寮　□✓ホームステイ その他（　　）	**宿泊 手配**	□✓大学の斡旋　□自分で その他（　　）
部屋の種類	□✓一人部屋 □二人部屋 その他（　　）	**ルームメイト**	□日本人学生 □他国からの学生 その他（　なし　）

その他生活で必要な手続き、アドバイス（口座開設、保険、携帯電話、荷物、支払い方法など）	何かあったときのために保険は必ず入っておく。 クレジットカードが主流のため、現金は少なめでもいい。（私は不安だったので念のために５万円の現金を持って行った。）

３．留学先の大学について

プログラムの概要について（授業・フィールドワーク内容、スケジュール等）	午前中は授業、午後はアクティビティという形で３週間過ごした。授業は、他大の人たちとの英語力別のミックスクラスになっていて、私のクラスでは、4 人 1 グループになってディスカッションをしたり、英語の音源を聞いてリスニングの練習をしたりした。英語力テストは渡航前にパソコンで受けた。 アクティビティはバスで移動して、他大の人たちも含め公園に行ったり、トウモロコシ畑の迷路に行ったり、博物館に行ったりと、毎日違うアクティビティを経験することができて、とても楽しかった。
留学先大学でのサポート体制について（語学面／学校生活／住居・日常生活等）	アルバータ大学では、担当教員がいるだけでなく、現地の学生が 2 人ほどサポートしてくださり、LINE でのやり取りをしてくれたため、わからないことや不安なことは気軽に LINE で聞くことができた。
留学開始後に行った留学先大学の手続き（学生証、履修登録、大学 ID の設定等）	学生証は希望者だけの配布だった。大学 ID の設定は、日本にいるときに ZOOM で説明を受け、日本で設定した。
休日や余暇の過ごし方（観光、現地学生との交流等） ※どうやって探したか、きっかけなども具体的に	休日は、ショッピングモールに行ったり、ホストファミリーと飼っている犬たちと公園で遊んだり、散歩をしたりした。また、学校のプログラムで金曜日の午後から日曜日までロッキーツアーに参加した（8 万円ほどの別料金がかかるため、希望者のみだったが、どの大学の人もほとんどが参加していた。）。感動するくらい、どこの景色も本当に綺麗だった。

４．留学成果とアドバイス

留学によって得られた成果（語学に関すること、ものの考え方や取り組み方、コミュニケーション能力など自由に記載してください）

留学によって得られた成果は、個人的には自分の英語力に自信を持つことができるようになりました。授業の中で他大の人たちから、英語上手だね、発音きれいだね、と何度か言っていただいたので、徐々に自分の英語に自信がつき、授業でも積極的に発表できるようになりました。そのため、長期留学をして今の英語力をさらに磨きたいと思うようにもなりました。ホストファミリーとの会話の中では、やはり遠慮してしまうこともありますが、自分の気持ちはちゃんと伝えることが大事だと感じました。自分の英語に自信がなくても、家でも学校でも自分の考えを伝えようとする気持ちと意思が英語力を伸ばす 1 つの要因だと考えるようになりました。

同じプログラムへ参加を希望する人へのアドバイス（留学先大学、プログラムに関すること、生活全般に関することなど自由に記載してください）

私は最初、このプログラムに参加するのは迷っていたが、参加してよかったと心から思っています。勇気を出して挑戦した後も、カナダに着くまでは不安だらけでしたが、実際に行ってみたら楽しいことばかりでした。長期留学となるとそうともいかないとは思いますが、3 週間という短い期間だからこそ、楽しいことが凝縮されており、本当に忘れられない大切な思い出ができました。日本では味わえない非日常の生活を味わうことができました。大学生の夏休みという長期休暇に特にやりたいこともない、何かに挑戦してみたいという人がいたら、強く勧めたいです！お金は決して安くはないですが、お金には代えられない貴重な経験ができると思います。

留学を通しての感想

私は、中学生の頃から、カナダに行ってみたいと思っていたので夢を叶えることができてよかったです。ホストファミリーはもちろん、熊大、千葉大、岐阜大、静岡大の素敵な人たちにも出会うことができて、一生忘れられない思い出ができました！挑戦することで得られるものは、本当にたくさんあるなと改めて実感しました。本当に楽しい 3 週間だったので、帰国後すぐに授業が始まりましたが、全然カナダの余韻から抜け出せません。外国に行くと、自分の視野も広がるだけでなく、世界って広いなと思わされるので、またアルバイト代を頑張って貯めて行きたいなと思っています。そして、カナダが大好きになったのでまたいつか訪れたいです。最高の思い出をくれた、サポートしてくださった工学部の先生方、国際教育課の方、旅行会社の方々、カナダで出会ったみなさんに心から感謝しています。ありがとうございました！！

熊本大学海外派遣留学生　報告書

（協定校サマープログラム／語学セミナー）

氏名	非公開		
所属	薬　学部・大学院 薬　学科・専攻		
留学先機関名	アルバータ大学　（国名：カナダ　）		
参加プログラム区分	■　協定校サマープログラム □　語学セミナー □　その他：		
留学期間	2023 年 9 月 4 日－ 2023 年 9 月 27 日	留学開始時学年	1 年次
奨学金（奨学金を受給した場合）	□　奨学金受給無し □　JASSO 海外留学支援制度　■　国際奨学事業 □　トビタテ！留学 JAPAN　【第　期】 □　その他（　）		

１．出発前の準備について

ビザの申請	■有　□　無 種類(eTA　　)	**ビザ申請先**	■　国内　□　現地 場所(　ネット　　)
留学に向けて 取り組んだ語学	■英語　□　独語　□　仏語　□　中国語 □　韓国語　□　その他（　　語）		
勉強方法	Reallyenglish の受講 洋画の視聴		
必要経費 (留学に必要な 支払い費用) ※概算費用（おおよその費用)	□　プログラム費用　15 万　円 □　宿泊費用（寮／ホームステイ等）　15 万　円 □　ビザ申請　千　円 □　渡航費（□片道　■往復）　30 万　円 □　海外旅行保険料　2 万　円 □　食費　1 万　円 □　その他（　　）　円		

２．渡航～到着後の生活について

利用航空会社	Air Canada	**手配**	九州産交ツーリズム ※利用したサイト、旅行会社等
移動経路 ※往路のみ	飛行機	**到着 時刻**	15 時 42 分 【※移動時間（約 15　時間)】
大学（寮）への 移動手段	□大学手配の出迎え　□知人の出迎え　□タクシー □公共交通機関（■バス　■電車）　□その他（　　）		
空港から移動する際の注意点 行き方、料金等	ホストファミリーが車で空港まで迎えに来てくれた。		
宿泊先	□寮　■ホームステイ その他(　　)	**宿泊 手配**	■大学の斡旋　□自分で その他(　　)
部屋の種類	■一人部屋 □二人部屋 その他(　　)	**ルームメイト**	■日本人学生 □他国からの学生 その他(　　)
その他生活で必要な手続き、アドバイス (口座開設、保険、携帯電話、荷物、支払い方法など)	デビットカードを作ることをおすすめします。急に大きなお金を支払うことになっても上限額を気にせず支払うことができる為です。スマホに関しては e-SIM が簡単で良いと思います。		

３．留学先の大学について

プログラムの概要について（授業・フィールドワーク内容、スケジュール等）	授業はネイティブの先生が１人いて生徒は皆日本人という体制で行われました。授業はグループワークが多く他人と英語を用いて協力しながら行いました。フィールドワークに関してバスで有名な観光地に連れて行ってくれたので良かったです。スケジュール的に毎日忙しいですが、充実した１日を過ごすことができました。
留学先大学でのサポート体制について（語学面／学校生活／住居・日常生活等）	フィールドワークの際に円滑に進むように大学の生徒の方が協力してくださいました。
留学開始後に行った留学先大学の手続き（学生証、履修登録、大学 ID の設定等）	大学の授業料の支払い
休日や余暇の過ごし方（観光、現地学生との交流等） ※どうやって探したか、きっかけなども具体的に	エドモントンモールにホストマザーが連れて行ってくれました。また、ホストマザーの友人の息子とダウンタウンを散歩しました。ロッキーツアーに参加すると休日が少なくなりますが、自然豊かで良い経験ができたので参加して良かったと思います。

４．留学成果とアドバイス

留学によって得られた成果（語学に関すること、ものの考え方や取り組み方、コミュニケーション能力など自由に記載してください）

留学に行く前にある程度会話ができるようにもっと勉強すれば良かったと後悔しています。カナダは多くの移民を受け入れるなど多様性を受け入れる姿勢が進んでいるため、留学生も暮らしやすかったです。またカナダと同じく労働不足の日本も将来このようになるのだろうと感じ、多様性を受け入れる姿勢が以前よりも強まったように思います。

同じプログラムへ参加を希望する人へのアドバイス（留学先大学、プログラムに関すること、生活全般に関することなど自由に記載してください）

シャワーの使い方が場所によって変わり難しい為調べてから入るようにすると良いと思います。ホームステイ先から学校までが遠く通学に時間がかかる場合があるのでいつでもマップアプリを使えるようにすると良いと思います。またハードスケジュールな為に体調を崩しやすいので普段体調不良になりにくい人も薬を忘れないようにしたらよいと思います。日本人の留学生との交流が多く、私の場合はホストファミリーが忙しく一緒にいられる時間が少なかった為、英語能力はそこまで向上させることができませんでした。そのため英語能力向上のために留学を考えている方は交換留学の方がよいのではないかと個人的には思います。

留学を通しての感想

カナダは多くの国の人々が集まっている国な為、留学生も暮らしやすく、馴染みやすかったです。食事は多かったですが、どれも美味しく食事に関して困ることがなかったためストレスの少ない留学生活を送ることができたと思います。ロッキーツアーに関してはハードスケジュールでしたが、湖も空気もきれいだったためお金はかかりますが行けてよかったと思います。普段できない経験ができ、日本とは異なる環境に短期間ですが身を置くことができたため今回このプログラムに参加して良かったと思います。

熊本大学海外派遣留学生　報告書

（協定校サマープログラム／語学セミナー）

氏名	非公開		
所属	法 学部・大学院 法 学科・専攻		
留学先機関名	アルバータ大学　（国名：　カナダ　）		
参加プログラム区分	□　協定校サマープログラム ○　語学セミナー □　その他：		
留学期間	令和５年９月４日－令和５年９月２５日	留学開始時学年	１年次
奨学金（奨学金を受給した場合）	□　奨学金受給無し ○　JASSO 海外留学支援制度　□　国際奨学事業 □　トビタテ！留学 JAPAN　【第　期】 □　その他（　）		

１．出発前の準備について

ビザの申請	□　有　　○　無 種類（　　）	**ビザ申請先**	□　国内　　□　現地 場所（　　）
留学に向けて 取り組んだ語学	○　英語　　□　独語　　□　仏語　　□　中国語 □　韓国語　　□　その他（　　語）		
勉強方法	よく使う日常英会話をノートに書いて時間があるときに見ていた。		
必要経費 （留学に必要な 支払い費用） ※概算費用（おおよその費用）	□　プログラム費用　　２７０，０００円 □　宿泊費用（寮／ホームステイ等）　１３０，０００円 □　ビザ申請　　円 □　渡航費（□片道　□往復）　　４００，０００円 □　海外旅行保険料　　１７，０００円 □　食費　　円 □　その他（　　）　　円		

２．渡航～到着後の生活について

利用航空会社	ANA/エアカナダ	**手配**	九州産交ツーリズム ※利用したサイト、旅行会社等
移動経路 ※往路のみ	熊本-羽田-成田-バンクーバー-エドモントン	**到着 時刻**	現地時間９月４日１５時 【※移動時間（約１２時間）】
大学（寮）への 移動手段	□大学手配の出迎え　□知人の出迎え　□タクシー □公共交通機関（□バス　□電車）　○その他（ホストファミリー）		
空港から移動する際の注意点 行き方、料金等			
宿泊先	□寮　○ホームステイ その他（　　）	**宿泊 手配**	○大学の斡旋　□自分で その他（　　）
部屋の種類	○一人部屋 □二人部屋 その他（　　）	**ルームメイト**	○日本人学生 □他国からの学生 その他（　　）
その他生活で必要な手続き、アドバイス （口座開設、保険、携帯電話、荷物、支払い方法など）	完全クレジット決済。現金不要。 飛行機の重量制限注意。		

３．留学先の大学について

プログラムの概要について（授業・フィールドワーク内容、スケジュール等）	8 時から１２時までの英語授業（１０時３０分～１１時まで休憩） 午後は予定されたアクティビティ（２時間程度）に参加（２日ほどフリータイムあり） すべてアルバータ大学側が組んだスケジュールに沿って行動するため、自分でスケジュールを組む必要はない。
留学先大学でのサポート体制について（語学面／学校生活／住居・日常生活等）	出発前にテストを受験し、その点数によってクラス分けされる。同レベルの人たちと学ぶため、授業についていけないなどの不安はない。 学生アシスタントがいるため困ったことはすぐに聞ける。
留学開始後に行った留学先大学の手続き（学生証、履修登録、大学 ID の設定等）	履修登録必要なし。 学生証が欲しい人購入可。
休日や余暇の過ごし方（観光、現地学生との交流等） ※どうやって探したか、きっかけなども具体的に	出発前にエドモントンの観光地やオススメスポットを調べて、放課後やフリータイムに行く。 ホームステイ先周辺をウォーキングして散策 ホストファミリーの知人のホームパーティーに参加

４．留学成果とアドバイス

留学によって得られた成果（語学に関すること、ものの考え方や取り組み方、コミュニケーション能力など自由に記載してください）

初めはうまく伝わらない自分の英語が嫌できついと思うことがあったけど、毎日英語を話していると考えずとも口から英文が出るようになった。
カナダの人たちの寛容さには尊敬しかない。
海外では自分から話さないと何もできないからコミュニケーション能力は確実に上がる。

同じプログラムへ参加を希望する人へのアドバイス（留学先大学、プログラムに関すること、生活全般に関することなど自由に記載してください）

物価が高い。
電車の遅延は日本より多い。(ほぼ毎日)
ゴミ箱が至る所にある。トイレが少ない。
Laptop 必須。

治安は最高に良い。
大学では毎日のように催し物があっている。
他大の人たちとの交流の場でもある。

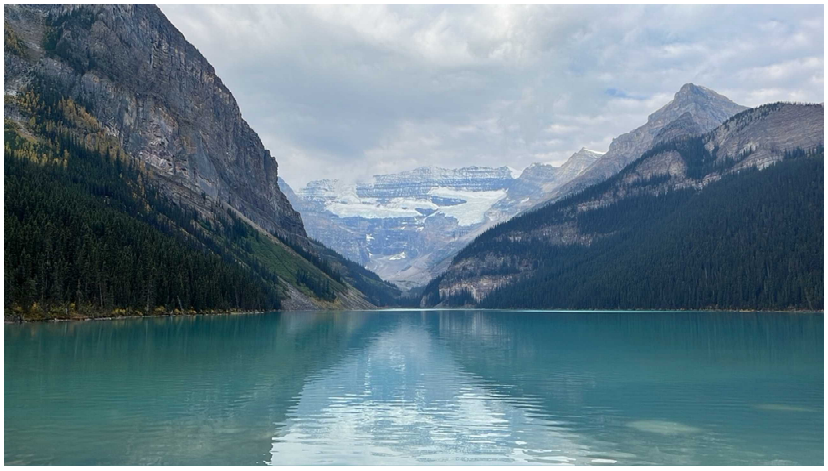
留学を通しての感想

「最高に楽しかった」の一言に尽きる。
英語を学ぶ楽しさを存分に味わえる機会だったし、また行きたいと思わせてくれる出会いと思い出がたくさんできた。
９月のカナダは暑すぎず寒すぎず過ごしやすかった。
Banff の絶景やオーロラは写真では感じられない感動をくれた。
友達が増えたことで今後の楽しみも増えた。
場所はどこでもいい。異国で生活をする留学という経験をすべての人にしてほしいと強く思うほど、素敵な３週間だった。

熊本大学海外派遣留学生　報告書

（協定校サマープログラム／語学セミナー）

氏名	非公開		
所属	文 学部・大学院 文 学科・専攻		
留学先機関名	アルバータ大学　（国名：　カナダ　）		
参加プログラム区分	✓　協定校サマープログラム ☐　語学セミナー ☐　その他：		
留学期間	2023 年　9 月 4　日ー 2023　年 9 月　26 日	留学開始時学年	4 年次
奨学金（奨学金を受給した場合）	☐　奨学金受給無し ✓　JASSO 海外留学支援制度　☐　国際奨学事業 ☐　トビタテ！留学 JAPAN　【第　期】 ☐　その他（　）		



１．出発前の準備について

ビザの申請	✓ 有　□ 無 種類 （ ETA ）	**ビザ申請先**	✓ 国内　□ 現地 場所（オンライン）
留学に向けて取り組んだ語学	✓ 英語　□ 独語　□ 仏語　□ 中国語 □ 韓国語　□ その他（　　語）		
勉強方法	洋楽を聞いて発音を練習する ドラマや映画を英語字幕で見る		
必要経費 **（留学に必要な支払い費用）** **※概算費用（おおよその費用）**	✓ プログラム費用　約 14 万円 ✓宿泊費用（寮／ホームステイ等）　約 14 万円 ✓ ビザ申請　700 円 ✓ 渡航費（□片道　✓往復）　約 33 万円 ✓ 海外旅行保険料　約 2 万円 ✓ 食費　4 万円 □ その他（　　）　円		

２．渡航～到着後の生活について

利用航空会社	エアカナダ	**手配**	九州産交 ※利用したサイト、旅行会社等
移動経路 **※往路のみ**	熊本→羽田→成田→バンクーバー→エドモントン	**到着時刻**	16 時 【※移動時間（約 20 時間）】
大学（寮）への移動手段	□大学手配の出迎え　□知人の出迎え　□タクシー ✓公共交通機関（✓バス　✓電車）　□その他（　　）		
空港から移動する際の注意点 **行き方、料金等**	ホストファミリーの出迎えでした。		
宿泊先	□寮　✓ホームステイ その他（　　）	**宿泊手配**	✓大学の斡旋　□自分で その他（　　）
部屋の種類	✓一人部屋 □二人部屋 その他（　　）	**ルームメイト**	□日本人学生 □他国からの学生 その他（　　）

その他生活で必要な手続き、アドバイス（口座開設、保険、携帯電話、荷物、支払い方法など）	必要なものがあるかステイ先に確認して、荷物をできるだけ減らしていくことをお勧めします。 クレジットカードの限度額は、カード会社に連絡して一時的に上げてもらうとよいと思います。

３．留学先の大学について

プログラムの概要について（授業・フィールドワーク内容、スケジュール等）	毎日 8 時半から 12 時半まで授業でした。午後は、エドモントンの有名な観光地をまわったり、現地学生と会話する Conversation Club が開催されたりと、多岐にわたるアクティビティが用意されていました。
留学先大学でのサポート体制について（語学面／学校生活／住居・日常生活等）	本プログラムでは、熊大生以外にも日本全国の各大学から同じように派遣された学生がいたので、授業が同じになった学生と仲良くなり、課題やわからないことは協力し合って取り組みました。また、アシスタントの先生が二人いたので、皆わからないことはその先生方に聞いていました。
留学開始後に行った留学先大学の手続き（学生証、履修登録、大学 ID の設定等）	One Card というアルバータ大学の学生証のようなものに申し込みました。これは、申し込まなくてもいいものなので、記念に持っておきたい人や、学校の施設を利用したい人は申請することをお勧めします。
休日や余暇の過ごし方（観光、現地学生との交流等） ※どうやって探したか、きっかけなども具体的に	休日や放課後は、他大学の日本人学生や、アシスタントの先生（歳が近かったので）とよく学校でスポーツをしたり、ホッケーの試合を見に行ったりしました。また、アシスタントの先生の紹介でアジア系の学生が集まるサークルのウェルカムパーティーに参加し、本当にたくさんの現地学生と友達になることができました。

４．留学成果とアドバイス

留学によって得られた成果（語学に関すること、ものの考え方や取り組み方、コミュニケーション能力など自由に記載してください）

授業の方針が、文法や発音にとらわれず、とにかく英語でコミュニケーションをしようというものだったので、皆英語を積極的に話しやすい環境だったと思います。また、クラスで仲良くなった人と授業外で遊ぶ時もできるだけ英語で話したり、アシスタントの先生とも仲良くなったりしたことで、自然と英語のみで話すようになっていました。私は、積極的に現地の学生や先生と関わりに行こうとしていたので、リスニングやスピーキングの力がすごく伸びたと思います。英語力だけでなく、コミュニケーション能力や自分の自信にもつながり、帰国してからも英語を勉強し続けるのはもちろん、話したり聞いたりすることを継続しようと自然と思うようになりました。現在は、現地で仲良くなった学生やアシスタントの先生と SNS でやり取りを続けたり、時々グループでビデオ通話をしたりしています。本当に優しくて楽しい方たちに恵まれ、約 1 か月が本当に素晴らしい時間となりました。

同じプログラムへ参加を希望する人へのアドバイス（留学先大学、プログラムに関すること、生活全般に関することなど自由に記載してください）

アルバータ大学は学生が非常に多く、学力の面からもワールドクラスの大学です。一か月ながらもそのような大学で授業を受け、留学生として過ごせたことを今では非常に誇りに思います。また、ホームステイの経験もでき、異なる生活習慣や環境、食文化にも直に触れることができたことから、この一か月は私にとって非常に濃いものとなりました。行く前から 1 か月は短いだろうなと感じていたのですが、実際に行ってみると本当にあっという間で、授業やアクティビティで本当に充実した毎日を過ごすことができました。
また、この制度は奨学金をいただいて参加することもできるので、迷っている方はぜひ参加することをお勧めします。私は 4 年の夏休みに参加しましたが、たった 1 か月であっても、今後の人生の進路選択において大きな意味を持つものとなりました。海外大学での授業やホームステイ、現地学生との交流など、素晴らしい魅力が満載のプログラムなので、是非参加してみてはいかかでしょうか。

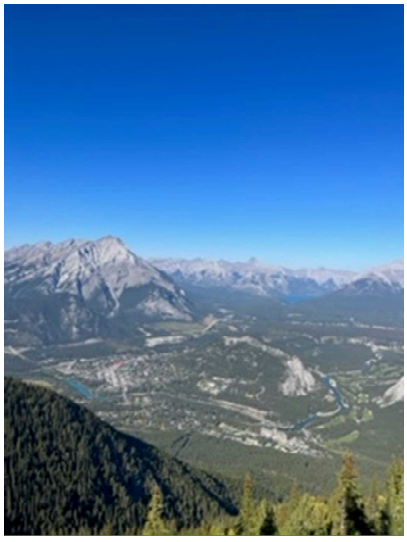
留学を通しての感想

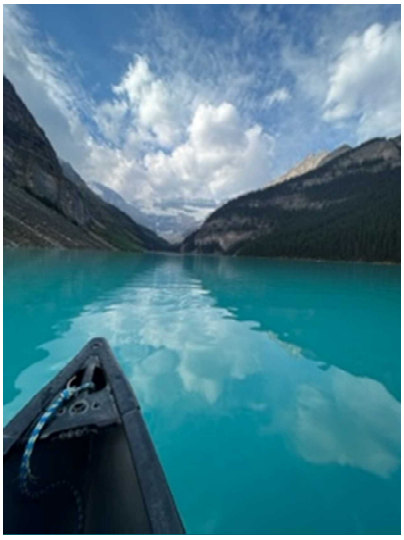
この留学を通して私が一番に心に残っていることは、人とのつながりです。このプログラムには、熊大生だけでなく他大学の学生も参加していたのですが、その学生たちと本当に仲良くなり、英語力を向上させたいという同じ志を持っていたことから一緒に様々なことに挑戦することができました。また、現地の仲良くなった学生と毎日遊んだり、ホストファミリーともいろんなところに遊びに行ったりしました。どの時間も非常に素晴らしいもので、カナダにいた時間が今では本当に夢のように感じます。彼らとは今でも連絡を取っていますし、いつか絶対にまた会いにいきたいと思っています。たった一か月でもたくさんの人と出会い、異なるバックグラウンドを持っていながらも本当に仲良くなって今でも繋がれていることは、私の人生において非常に大きな財産になったと思います。また、英語力に関しても、一か月で自分でもわかるくらい伸びたと思います。留学中、ホストファミリーと英語の映画を英語字幕でよく見ていたので、帰国してからも毎日 30 分は映画やドラマを英語で見るように心がけています。

熊本大学海外派遣留学生　報告書

（協定校サマープログラム／語学セミナー）

氏名	非公開		
所属	教育 学部・大学院 小学校/英語 学科・専攻		
留学先機関名	アルバータ大学　　（国名：カナダ　）		
参加プログラム区分	☐　協定校サマープログラム ■　語学セミナー ☐　その他：		
留学期間	2023 年９月４日－ 2023 年９月 26 日	留学開始時学年	２ 年次
奨学金（奨学金を受給した場合）	☐　奨学金受給無し ■　JASSO 海外留学支援制度　　☐　国際奨学事業 ☐　トビタテ！留学 JAPAN　【第　　期】 ☐　その他（　　）		





１．出発前の準備について

ビザの申請	■ 有　□ 無 種類（ eTA ）	**ビザ申請先**	■ 国内　□ 現地 場所（ オンライン申請 ）
留学に向けて取り組んだ語学	■ 英語　□ 独語　□ 仏語　□ 中国語 □ 韓国語　□ その他（　　語）		
勉強方法	熊本大学主催の IELTS 講座に参加した。		
必要経費（留学に必要な支払い費用）※概算費用（おおよその費用）	□ プログラム費用　262,000　円 □ 宿泊費用（寮／ホームステイ等）136,000　円 □ ビザ申請　770　円 □ 渡航費（□片道　■往復）　342,000　円 □ 海外旅行保険料　7,500　円 □ 食費　円 □ その他（　）　円		

２．渡航～到着後の生活について

利用航空会社	ANA, AIR CANADA	**手配**	九州産交ツーリズム ※利用したサイト、旅行会社等
移動経路 ※往路のみ	熊本―羽田 成田―バンクーバー バンクーバー―エドモントン	**到着時刻**	現地時間 9/4 15:42 【※移動時間（約　時間）】
大学（寮）への移動手段	□大学手配の出迎え　□知人の出迎え　□タクシー □公共交通機関（■バス　■電車）　□その他（　）		
空港から移動する際の注意点 行き方、料金等	ホストファミリーが迎えに来てくれたため、特に注意することはなかった。		
宿泊先	□寮　■ホームステイ その他（　）	**宿泊手配**	■大学の斡旋　□自分で その他（　）
部屋の種類	■一人部屋 □二人部屋 その他（　）	**ルームメイト**	□日本人学生 □他国からの学生 その他（　）
その他生活で必要な手続き、アドバイス（口座開設、保険、携帯電話、荷物、支払い方法など）	保険には入っておくべき。帰りは荷物が増えるため、ボストンバッグなどを用意しておくと便利だと思う。通学等で電車・バスを利用する際は、現地に着いて１か月乗り放題のマンスリーパスを購入しておくと良い。また、様々な費用をクレジットカードで払うということもあるため、上限額を引き上げておく。		

３．留学先の大学について

プログラムの概要について（授業・フィールドワーク内容、スケジュール等）	午前中（8:30-12:30　休憩 30 分）は、CSGC というスピーキングを主とした授業がオールイングリッシュで行われた。スピーキングでは、様々なテーマを基にペアやグループでディスカッション・ロールプレイを行い、動画を視聴した後リスニングテストも行われた。クラスに関しては、事前のテストでクラス分けされており、同じクラスには熊大以外の日本人学生も含め約 20 人いた。 午後のフィールドワークでは、Corn maze や Elk Island National Park などの観光地を訪れたり、Conversation Club に参加したりした。さらに、2 泊 3 日でロッキーツアーを訪れたのも良い思い出になった。
留学先大学でのサポート体制について（語学面／学校生活／住居・日常生活等）	サポートしてくれる現地の学生が質問に応じてくれ、午後のフィールドワークでは引率をしてくれた。
留学開始後に行った留学先大学の手続き（学生証、履修登録、大学 ID の設定等）	授業料の支払い
休日や余暇の過ごし方（観光、現地学生との交流等） ※どうやって探したか、きっかけなども具体的に	休日は、ホストファミリーや友達とショッピング等を楽しんだ。中でも、ウエストエドモントンモールは留学が開始する前から調べて行きたいと思っていたため、行ったときにはその広さに驚いた。さらに、モールの中には、プールや遊園地、アイススケート場などがあった。その他にも、サウスゲートモールやホワイトアベニュー、エドモントン・バレー・ズーなどを訪れ、一人で家の近くを散歩したり、スーベニアショップに行ったりすることもあった。 また、ホストマザーと犬の散歩をしたり、教会に行ったり、家の近くのお店や飲食店に行ったりもした。 そして、ホストファミリーの親戚 20 人以上が集まるパーティーに参加したり、ホストファミリーの娘さんとご飯を作ったり、お孫さんと一緒に遊んだりしたのも、良い思い出となった。

４．留学成果とアドバイス

留学によって得られた成果（語学に関すること、ものの考え方や取り組み方、コミュニケーション能力など自由に記載してください）

私は元々英語が好きで、リーディングとライティングは得意だったが、リスニングとスピーキングは苦手だった。留学して最初の方は、ホストファミリーの言っていることが上手く聞き取れず苦労したこともあったが、分からないことがあったら聞き直したり質問したりしていったことで次第に慣れていき、上手くコミュニケーションを取ることができるようになっていた。英語力に関しては、ホストファミリーの助けが非常に大きく影響していたと思うと同時に、文法等を気にして完璧に話そうとするのではなく、相手に自分の伝えたいことを伝えたいという気持ちを持って積極的に英語でコミュニケーションを取ることが大事だと感じた。

また、日本とカナダ、さらにホストファミリーの故郷であるフィリピンの文化の違いについても、たくさん学ぶことができた。日本では当たり前だと思って意識していなかったことも、海外の方からすると興味深いことであるのだということも分かった。さらに、カナダは多民族国家であり、日本との文化・慣習の違い等を通して、今まで以上に広い視野を持つことができたように感じる。

同じプログラムへ参加を希望する人へのアドバイス（留学先大学、プログラムに関すること、生活全般に関することなど自由に記載してください）

今回のプログラムを通して、最も大事だと感じたのは積極的に行動することだ。

英語に関しては、授業中やホストファミリーとの会話において、積極的に英語で表現し、分からないことがあってもできるだけ翻訳アプリ等は使わず、自分で質問しながら学んでいくことが大切になっていくと思う。

また、私自身、思っていた以上に 3 週間があっという間に過ぎていったため、自分がしたいこと、食べたいものなどをあらかじめ考えておき、それを実現するために計画を立てておく必要があると思う。

そして、私は度々、知ってるはずなのに出てこないといった単語や文法があり、悔しい思いをしたことがあった。そのため、単語帳や文法書を見返す、インターネットで新しい表現方法を身につけるといった、英語の復習・勉強など日本でできることはしっかりと行うべきだと痛感した。

留学を通しての感想

今回のプログラムは、私にとって初めての海外経験だったということもあって、いろいろなことが新鮮で、驚きと発見の毎日だったと感じる。充実した日々を過ごすことができて、これまでの人生の中で一番有意義な夏休みだったと思うと同時に、行くかどうか迷っている人がいたら是非チャレンジした方が良いと思う。

また、ホストファミリーには、とてもお世話になり、おかげで楽しいカナダ生活を送れたと感じている。学校であったことや、カナダでやりたいこと、日本での生活などを聞いてくれて毎日コミュニケーションを取ったり、いろいろなところへ連れて行ってくれたり、他にも生活面でも英語面でも、いつも助けてくれたと感じ、とても感謝している。

そして、このプログラムを通して、日本の良さに改めて気づけたと同時に、意外と自分が日本について知らないこともまだまだあるのだということも分かった。

これまで以上に英語や海外に興味を持つことができたので、今回の貴重な経験を生かして、これからも頑張っていきたいと思う。

熊本大学海外派遣留学生　報告書

（協定校サマープログラム／語学セミナー）

氏名	非公開		
所属	理 学部・大学院 理 学科・専攻		
留学先機関名	アルバータ大学　（国名：　カナダ　）		
参加プログラム区分	☑　協定校サマープログラム ☐　語学セミナー ☐　その他：		
留学期間	２０２３年９月４日－２０２３年９月２６日	留学開始時学年	２ 年次
奨学金（奨学金を受給した場合）	☐　奨学金受給無し ☐　JASSO 海外留学支援制度　☑　国際奨学事業 ☐　トビタテ！留学 JAPAN　【第　期】 ☐　その他（　）		

写真貼付

（枚数制限なし）

１．出発前の準備について

ビザの申請	☑ 有　□ 無 種類（電子ビザ）	**ビザ申請先**	☑ 国内　□ 現地 場所（　カナダ　）
留学に向けて取り組んだ語学	☑ 英語　□ 独語　□ 仏語　□ 中国語 □ 韓国語　□ その他（　　語）		
勉強方法	理学部の英語の教材		
必要経費（留学に必要な支払い費用） **※概算費用（おおよその費用）**	□ プログラム費用　$1,327 CAD □ 宿泊費用（寮／ホームステイ等）$1,213 CAD □ ビザ申請　790　円 □ 渡航費（□片道　☑往復）　約 32 万円 □ 海外旅行保険料　7530　円 □ 食費やお土産代　１５万円 □ その他（ロッキーツアーやテストの料金）　$1,055 CAD		

２．渡航～到着後の生活について

利用航空会社	エアカナダ	**手配**	九州産交 ※利用したサイト、旅行会社等
移動経路 **※往路のみ**	**熊本→羽田、成田→バンクーバー、バンクーバー→エドモントン**	**到着時刻**	１５：４０ 【※移動時間（約　１３　時間）】
大学（寮）への移動手段	□大学手配の出迎え　□知人の出迎え　□タクシー ☑公共交通機関（☑バス　☑電車）　□その他（　　）		
空港から移動する際の注意点 **行き方、料金等**	ホストマザーのピックアップ		
宿泊先	□寮　☑ホームステイ その他（　　）	**宿泊手配**	☑大学の斡旋　□自分で その他（　　）
部屋の種類	☑一人部屋 □二人部屋 その他（　　）	**ルームメイト**	☑日本人学生 □他国からの学生 その他（　　）
その他生活で必要な手続き、アドバイス（口座開設、保険、携帯電話、荷物、支払い方法など）	カナダは現金よりカードが主流なのでクレジットカードは上限を上げておくといいです。 荷物は一つ当たり 23kg の２つまで可能だったので大きめのキャリーバックとボストンバックを持っていくといいと思います。		

３．留学先の大学について

プログラムの概要について（授業・フィールドワーク内容、スケジュール等）	午前中は毎日語学学習、午後は大学主催のアクティビティーがあることが多かったです。午前中の語学学習は教室で行われるものの、学生と教師や学生同士での会話が緩い雰囲気で行われるような授業だったので、リラックスしながら楽しむことができました。午後のアクティビティーはエドモントン付近のいろいろな場所に訪れました。どれも日本にないような場所ばかりだったので楽しかったです。
留学先大学でのサポート体制について（語学面／学校生活／住居・日常生活等）	学生と近い距離間でサポートをしていただける大学の方々が数人いて、気分を楽にして過ごすことができました。
留学開始後に行った留学先大学の手続き（学生証、履修登録、大学 ID の設定等）	特別なことは特にないです。
休日や余暇の過ごし方（観光、現地学生との交流等） ※どうやって探したか、きっかけなども具体的に	３週間の研修期間だったので、３回の週末を過ごしました。そのうち、２回目の週末はロッキーツアーにてバンフなどの観光地で過ごしました。１，３回目の週末ではルームメイトとウェストエドモントンモールや動物園などを訪れました。 また、午後に何のプログラムがない日には現地の学生にエドモントンを案内してもらったり、ご飯を食べに行ったりしました。 毎週木曜日に conversation club という現地の学生と交流できる時間があったのでそこで知り合ったり、日本人の友達からの紹介で知り合ったりもしました。

４．留学成果とアドバイス

留学によって得られた成果（語学に関すること、ものの考え方や取り組み方、コミュニケーション能力など自由に記載してください）

語学に関してはスピーキングの能力とリスニングの能力が飛躍的に上昇したと感じています。私は自分の英語の能力についてカナダに行って最初に思ったことは、聞き取ることができても、自分の考えていることがうまく英語で表現できないということでした。
しかし、毎日現地の友達やホストマザーと話しているうちに自分の知っている単語をうまく使い分けて表現することが上手くなっていきました。あえて英語しか話すことができない環境に身を置くことが重要だと思います。
カナダ人といってもルーツは様々でした。カナダで知り合った方々もルーツはフィリピン、イギリス、中国などだったものの全員フレンドリーでとても話しやすいと感じました。このことから積極的に話をしに行くことがとても重要だと感じました。

同じプログラムへ参加を希望する人へのアドバイス（留学先大学、プログラムに関すること、生活全般に関することなど自由に記載してください）

この研修自体が３年ぶりらしく、何回説明会に参加してもわからなかったり、はっきりしなかったりしたことが多くて行くまではとても不安でした。しかし、アルバータについてからに関してはアルバータ大学のサポートがとても手厚くて安心して過ごすことができました。
９月は日本だとまだとても暑いものの、カナダでは昼は２０℃弱、朝は５℃前後と気温に関してはとても過ごしやすいです。しかし、私は乾燥していると感じたので保湿クリームやのど飴があると安心して過ごせると思います。
ホストファミリーにはホストファミリーなりのルールがあります。実際に私のホストファミリーでは夜の 9 時以降は基本的にシャワーを浴びてはいけないなど、慣れないルールがいくつかありました。でも、最初にそれらをすべて教えてくれると思うので心配しなくてもいいと思います。
最後に、積極的に英語しか話せない環境に自分を追い込むと英語力も上がるし、現地の友達もできるし、何より楽しいのでぜひ自分を追い込んでみてください。

留学を通しての感想

まず、ほんとに楽しかったです。わずか３週間という短い期間だったものの、日本では到底経験できないような刺激的な経験をいくつもすることができました。現地の友達にドライブに連れて行ってもらった時には、ハリウッド映画にあるような楽しいドライブという経験もできました。ただ、道の状態が日本に比べて良いとは言えないのでそういった意味でもエンジョイできました。
とても自然豊かで夜には一日だけオーロラを見ることができたり、ロッキーツアーでは氷河を見ることができたり、パイソン、エルク、鹿、リス、ウサギなど、様々な野生動物を見ることができ、特に鹿、リス、ウサギに関しては日常的に見ることができました。
カナダにいる間は日本人と話すとき以外は常に英語しか話せないというところも個人的には好きでした。自分の英語の能力が上がっていっていることを実感すると、英語を話すことが楽しくなりました。これは海外旅行では経験できない部分だと思うのでぜひ多くの方にこれを経験してみてほしいです。

熊本大学海外派遣留学生　報告書

（協定校サマープログラム／語学セミナー）

氏名	非公開		
所属	工 学部・大学院 機械数理 学科・専攻		
留学先機関名	アルバータ大学　（国名：　カナダ　）		
参加プログラム区分	☐　協定校サマープログラム ☑　語学セミナー ☐　その他：		
留学期間	2023 年　9 月 4 日－ 2023 年 9 月 25 日	留学開始時学年	4 年次
奨学金（奨学金を受給した場合）	☐　奨学金受給無し ☑　JASSO 海外留学支援制度　☐　国際奨学事業 ☐　トビタテ！留学 JAPAN　【第　期】 ☐　その他（　）		

写真貼付

（枚数制限なし）

１．出発前の準備について

ビザの申請	□ 有　☑ 無 種類（　　）	**ビザ申請先**	□ 国内　□ 現地 場所（　　）
留学に向けて取り組んだ語学	☑ 英語　□ 独語　□ 仏語　□ 中国語 □ 韓国語　□ その他（　　語）		
勉強方法	英語圏の動画や映画を見る		
必要経費（留学に必要な支払い費用） **※概算費用（おおよその費用）**	☑ プログラム費用　180,000 円 ☑ 宿泊費用（寮／ホームステイ等）　134,000 円 □ ビザ申請　円 ☑ 渡航費（□片道　☑往復）　342,000　円 ☑ 海外旅行保険料　7,600　円 □ 食費　円 ☑ その他（　ツアー代　）　86,000　円		

２．渡航～到着後の生活について

利用航空会社	エアカナダ	**手配**	九州産交 ※利用したサイト、旅行会社等
移動経路 **※往路のみ**	熊本→羽田→成田→バンクーバー→エドモントン	**到着時刻**	15:42 【※移動時間（約　15　時間）】
大学（寮）への移動手段	□大学手配の出迎え　□知人の出迎え　□タクシー ☑公共交通機関（☑バス　☑電車）　□その他（　　）		
空港から移動する際の注意点 **行き方、料金等**	ちゃんと注意事項を見る		
宿泊先	□寮　☑ホームステイ その他（　　）	**宿泊手配**	☑大学の斡旋　□自分で その他（　　）
部屋の種類	☑一人部屋 □二人部屋 その他（　　）	**ルームメイト**	□日本人学生 □他国からの学生 その他（　　）
その他生活で必要な手続き、アドバイス（口座開設、保険、携帯電話、荷物、支払い方法など）	クレジットカードは何枚かもっておいたほうがよいと思います。支払い上限が来ると使えなくなるので。		

３．留学先の大学について

プログラムの概要について（授業・フィールドワーク内容、スケジュール等）	授業については英語でのコミュニケーションについて学んだ。またカナダの文化やSDGｓのことについても英語を通じて学んだ。
留学先大学でのサポート体制について（語学面／学校生活／住居・日常生活等）	学費の納入など担当の方に話せば何とか対応してくれました。
留学開始後に行った留学先大学の手続き（学生証、履修登録、大学 ID の設定等）	特になし
休日や余暇の過ごし方（観光、現地学生との交流等） ※どうやって探したか、きっかけなども具体的に	一人で観光名所を回ったりしました。またホームステイ先の人にいろいろなところに連れて行ってもらいました。

４．留学成果とアドバイス

留学によって得られた成果（語学に関すること、ものの考え方や取り組み方、コミュニケーション能力など自由に記載してください）

見知らぬ人でもコミュニケーションを気軽にとれるようになったと思います。カナダは日本よりも会話のハードルが低いと思いました。バスの中でも話したり、店員さんとも軽い日常会話をしたりしました。
リスニング能力は向上したと思います。日常で英語しか耳に入ってこないのでそのうち慣れていきます。言っていることがすべて分からなくても何となく相手の伝えたいことはわかるようになります。

同じプログラムへ参加を希望する人へのアドバイス（留学先大学、プログラムに関すること、生活全般に関することなど自由に記載してください）

積極的にいろいろな人とコミュニケーションをとったほうがいいと思います。自分のスキルも向上するし、現地の人は気軽に話せば大体笑顔で返してくれるのであまり心配する必要はないと思います。
留学前にリスニングは練習しておいたほうがいいと思います。現地でもある程度身につくとは思いますが、身につくまでが大変になると思います。相手の言っていることさえわかればコミュニケーションはできるのでリスニングは大事だと思います。

留学を通しての感想

語学力はもちろん、コミュニケーション能力が上がったと思います。もともと人見知りであまりしゃべるのは得意ではありませんでしたが、現地の人と話していてもっと気楽に話してよいのだと心が軽くなりました。